



**問** 新しくオープンする図書館運営について

**答** 職員体制の充実を図る



待ちに待った図書館

**問** 新設されたくつろぎの部屋（ラウンジ）は、一面ガラス張りになっていているが、夏の暑さ対策は。

**教育課長**

このラウンジは、開放感をもってくつろいでいただくとともに、施設内の魅力を屋外の方々に「見せる」ことができる、ショーウィンドウ的な役割を担っている。

今回、「ロー、イー、ペアグラス」と呼ばれる断熱性の非常に高い複層ガラスを採用し、施工している。さらに、ロールブラインドを全面的に設置し、最も気温の上がる時間帯にはこのペアグラスと併せて断熱性を高め、暑さをしのぐこととしている。

今年度の夏に一度検証をしたうえで暑さ対策について再度検討していきたい。

**問** 建物の面積が狭いようであるが、本の保管場所が設けられていない。古くなった新聞や本の保管しておく書庫は必要では。

**教育課長**

開架書庫の容量オーバー

が予測される開館後5年を目安に、増築あるいは既存施設の活用などの方法により書庫を確保する必要があると考えている。

**問** 土・日・祭日・夕方利用に対応できる職員の体制は。

**教育課長**

勤務体制を確立するために、正規職員のほか嘱託職員として館長をはじめ、図書司書、町民活動支援スタッフを配置し、コストを抑えつつ、利用される町民の皆さんに満足していただけるサービスを確保できるように職員体制を整えているところである。

**問** 図書館裏の堀は、整備されているが、水質の改善を望む。

**教育課長**

子育て交流センター、ホール、図書・情報センターの3つの施設のエリア内の中央に堀が走っているため、各施設が分断

されている状況にある。

したがって、各施設の機能と利用効果を高めるとともに、本町のまちづくりのシンボルとなるよう、それぞれの施設間を自由に移動できる通路と来訪者が憩えるガーデンを整備していきたいと考えている。そのため計画づくりを22年度後半から検討に入りたい。

このような計画が実現していくと、堀の汚れが気になる場所としてはその価値を下げることもつながらず、しかし、堀は閉ざされたものではなく、上、下流とつながっているため水質を良くすることは大変困難なことでもある。

通路やガーデンを整備する際、水辺に植栽したり日頃の清掃活動を徹底するなど、ある程度見た目に映る美観を整えることは可能だと思われるが、水質改善は全町的な課題でもあり、長期的な視点で取り組む必要がある。